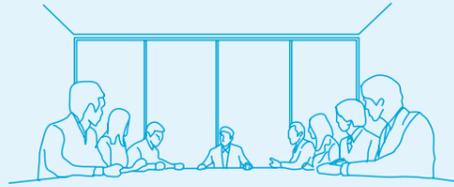


安全管理体制

社員と経営層が積極的にコミュニケーションを取ることで、安全意識の共有・向上に努めています。また、社長を最高責任者とする安全管理体制を確立しています。

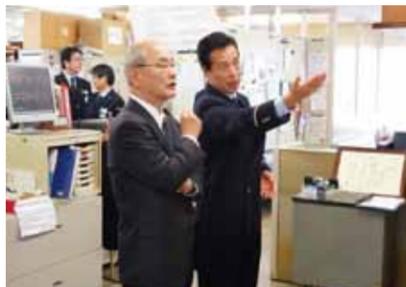


社員と経営層とのコミュニケーション

役員及び部長が、直接社員とコミュニケーションを取ることで、安全意識の共有・向上に努めています。

現業職場への巡視

夏季の安全輸送推進運動と年末年始の輸送等に関する安全総点検では、社長が最高責任者となって、輸送安全の確保についての取組等を確認するとともに、直接現場を巡視して社員を激励しています。



年末年始の輸送等に関する安全総点検



夏季の安全輸送推進運動

チームメトロミーティング

役員や部長が社員と課題をディスカッション形式で議論し、相互理解を深めることで、安全意識の共有・向上を図っています。平成27年度は108回実施しました。



チームメトロミーティング

訓練への参加

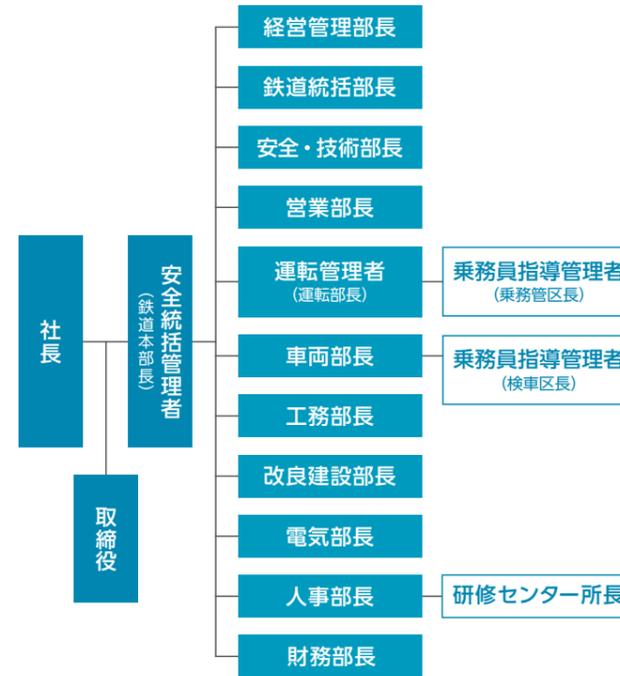
役員及び社員が参加する異常時総合想定訓練をはじめ、関係部門が横断的に復旧処置に関わる訓練を行うことで、お客様の安全確保に努めています。



異常時総合想定訓練

安全の確保に係る体制

社長を最高責任者として、安全統括管理者である鉄道本部長をはじめとする各管理者等の責務を明確にして、安全管理体制を構築しています。



▶主な管理者等とその責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	鉄道施設、車両及び運転の安全性並びに相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施及び各管理部門の統括管理をする。
運輸管理者	安全で安定した輸送を確保するため、運転関係の係員、施設及び車両を総合的に活用し、運行計画の設定、乗務員と車両の運用、その他運転に関する業務を管理する責務を有する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の維持管理と資質の充足状況に関する定期的な確認及び運輸管理者への報告に関する事項等の業務を行う責務を有する。

平成27年4月現在

講演会等での訓示

毎年開催される安全に係る講演会等において、役員から訓示があります。経営層から社員に直接語りかけることにより、安全意識の共有・向上を図っています。



「安全の日」講演会



事故防止オープンセミナー



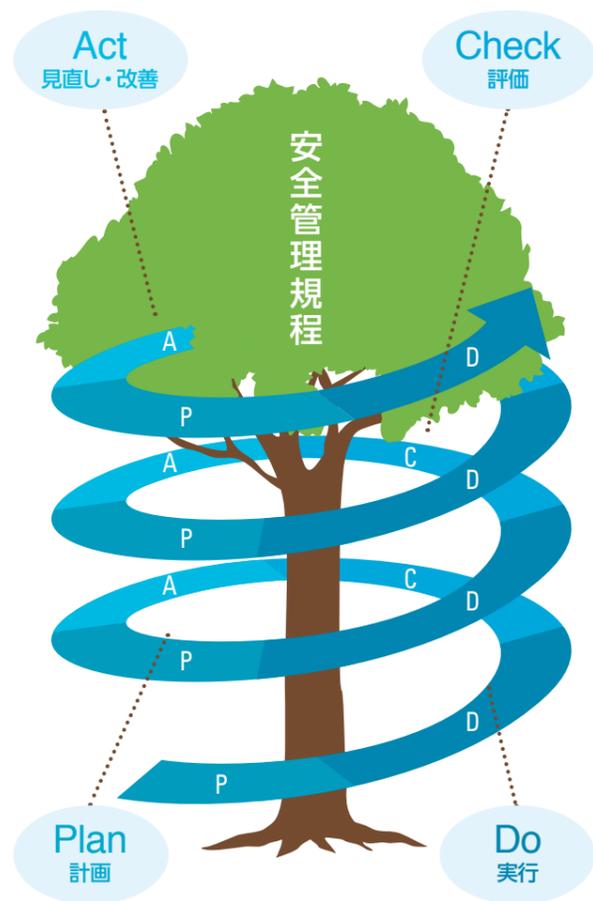
安全管理の方法

PDCAサイクルを運用し、安全情報を共有することで、安全管理体制の見直しを継続的にを行っています。

PDCAサイクルで継続的な見直し

輸送の安全の確保に関する計画を策定し(Plan)、これを着実に実行し(Do)、その進捗状況を管理・検証して(Check)、必要な見直し・改善を図っています(Act)。

▶安全管理体制のスパイラルアップ



安全管理体制に係る内部監査(平成27年度)

【実施期間】

■東京メトロ
本社：平成27年9月7日・10日
現業：平成27年6月23日～8月13日(実日数16日間)

■グループ会社
平成27年10月1日・8日

【対象職場】

■東京メトロ：40箇所(本社4部門、現業36職場)
■グループ会社：4社

【安全内部監査で確認した優れた取組の主な事例】

- 管轄内において年2回のヒヤリ・ハット発表会を行うなど安全に対する意識の向上を図っていた。また、ヒューマンエラーに起因した事例を題材にして、エラー早期発見のポイントについて、取引先も含めた管轄内で行われる職場教育を実施していた。
- 安全推進プロジェクトメンバーを中心にヒヤリ・ハット情報の収集、職場内周知を行っていた。ヒヤリ・ハット投稿案件に対する改善等については、本社部門がサポートを行っており、投稿による設備改善などの事例は、部長まで報告されていた。
- 技術の伝承に関して、机上教育だけではなく実技教育にも重点をおき、作業上のコツを身に付けさせることに力を入れていた。また、教育する側の監督者クラスに対し、人材育成の重要性を徹底して意識させていた。

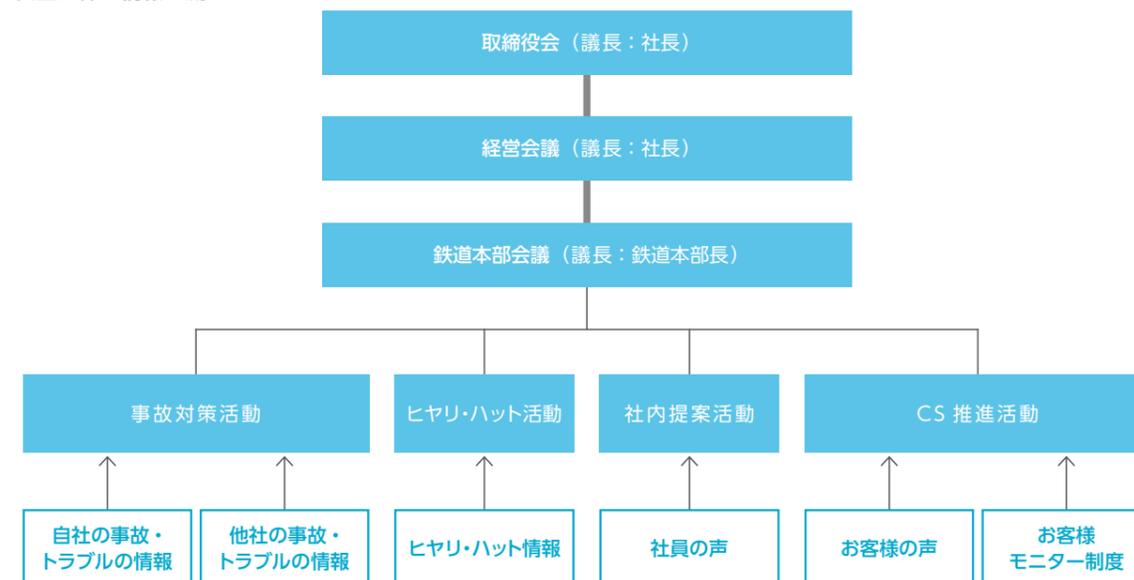
●国土交通省による評価

国土交通省による定期的な運輸安全マネジメント評価を受け、安全管理体制の見直しに反映しています。平成27年度は、前年度に実施した運輸安全マネジメント評価の結果、概ね安全管理体制が構築されていることが確認され、次回評価の実施を約2年後とする旨の通知を受け、評価に代わる報告書を提出しました。

安全情報の管理

輸送の安全の確保に係る取組については、鉄道本部会議の後、経営会議で審議し、特に重要な事項に関しては、取締役会で決定します。各会議体には、お客様の声や現場の情報を受けた各種活動の進捗状況などが定期的に報告され、情報の水平展開と安全管理の徹底に努めています。

▶安全に係る情報の流れ



●情報の共有化

日々の事故情報等の概要をまとめた総合指令所概況日報や、現業部門から収集されるヒヤリ・ハット情報、新規事業や業務改善についての社内提案などの各種活動の情報を社内イントラネット等に掲載し、全社員がいつでも見ることができ、担当業務や職場内研修に活用しています。

お客様の満足度向上への取組

東京メトロでは、お客様満足(CS)向上を推進するための仕組みを構築しています(右図)。

お客様センターに寄せられた「お客様の声」は、速やかに社内の関係部門にフィードバックすることにより、施策の迅速な実施につなげています。

▶CS推進体制

